

明治町デイサービスセンター

## 明治町デイサービスセンター



明治町デイサービスセンター 榎本 比呂志

令和元年度、明治町デイサービスセンターの経営基盤強化として収入目標を9,000万円、1日平均利用者数35名としていたが、実際には年間収入8,190万円(昨年8,682万円)、1日平均利用者29.9名(昨年31.9名)であった。

デイケアおよびデイサービス間で、利用者の情報共有に伴う効果については、令和2年6月時点で2症例の移行があった。加え、リハ部門においては、「病院デイケア」「老健施設デイケア」「デイサービス」の機能分化における検討を継続している。

活動内容の多様化については、新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、積極的な活動の多様化には至っていない。しかしながら、自分で選択することのできるサービス・活動を利用者と一緒に作りだし、利用者と一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと考えている。クラブ活動と称し、5種類ほどの活動から、自分で実施したい活動を選択し、各小集団で過ごす時間を設けている。ゆっくりと過ごしたい方や集中して過ごしたい方、昔の特技を生かしたい方等、十分な支援とは言い難いが、少しずつ前進していきたい。

利用者の状態像では要支援及び要介護1・2の比較的軽度の利用者が80%(昨年84%)で、要介護3・4・5の比較的重度な利用者が20%(昨年16%)である。事業所内の移動能力も車椅子使用者18%(昨年17%)、歩行介助・見守り26%(昨年25%)、歩行自立56%(昨年58%)という状況で、歩行可能な方々が、昨年同様8割以上を占めている。昨年と比較し、若干だが重度な利用者が増えている

状況もうかがえるが、重度化には至っていないと推測できる。

以上のことを踏まえ、収益、活動内容共に積極的な改革には至っていないことがうかがえるが、現状での課題も変化している。特に、今後のデイサービスとして、感染予防を徹底しながら、デイサービスとしての機能を充実させていかなくてはならない。今までのように、人と触れ合い、楽しみを探し出し、笑顔を作り出しただけではなく、マスク着用や手洗い、換気等の基本的な感染予防に努め、集団での活動を控え、個々に充実した時間を過ごしながら、運動(リハビリテーション)場面の提供、そして、レスパイト・ケア(介護負担軽減)として機能を明確にしていく必要性が高いと判断している。今まで求められてきたサービス内容だけでなく、相反するサービスとなる可能性も示唆されているが、安全で有益なデイサービスを作り出していく必要がある。新型コロナウイルスの感染予防対策より、一概に何が悪くて、何が良いのか判断しにくい状況が続いているが、まずは「安全」、そして「レスパイト」、「運動」を基本とし、その支援内容を明確にしていきたい。

また、収益については、法人内居宅事業所からの紹介件数も増えており、令和2年度については回復傾向がうかがえ、更なる連携強化、協力体制強化に努めていきたい。明治町エリアとして、各部署間の協力体制構築に向け強化している状況であり、明治町エリアとしてのデイサービスの役割を明確にしていきたい。

## 学会等・出張先一覧

自	至	氏名	所属部署	目的	発表	場所
9月6日	9月8日	木村 誉志江	-	第53回日本作業療法学会		福岡市